



第**118**期

中間報告書

平成22年4月1日から平成22年9月30日まで



大同工業株式会社

To Our Shareholders

株主のみなさまへ

株主のみなさまには、ますますご清栄のこととお喜び申しあげます。

当第2四半期累計期間（平成22年4月1日から平成22年9月30日まで）の営業が終了いたしましたので、中間報告書をお届けし、ご報告申しあげます。

事業の概況

■ 事業の経過及び成果

当第2四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く環境は、海外においては、アジア諸国を中心とする新興国の経済成長などを背景に立ち直りの兆しが見え出したものの、ギリシャ財政危機を始めとする欧州における金融不安が発生するなど新たな不安要素も加わり、本格的な回復とは言い難い状況で推移しました。国内におきましても、アジアを中心とした需要に支えられた輸出や生産面で回復の兆しが見られますが、急激な円高の進行、デフレ状況の継続など、国内外ともに依然として厳しい状況で推移しました。

当社グループにおきましては、為替の円高基調や原材料価格の高騰等の影響を受けたものの、生産性の向上、設備投資の圧縮、人件費の抑制、経費削減に努めてまいりました結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は190億52百万円（前年同期比21.6%増加）、営業利益は6億65百万円（前年同期は営業損失8億48百万円）、経常利益は5億73百万円（前年同期は経常損失6億16百万円）、四半期純利益は2億53百万円（前年同期は四半期純損失3億66百万円）となりました。

なお、中間配当につきましては、通期の業績による配当を勘案し、株主のみなさまには誠に申し訳ない次第でございますが、見送りとさせていただきます。

■ 対処すべき課題

今後の見通しにつきましては、アジアや南米を中心とした新興国の経済成長や企業収益の改善を背景に持ち直しの傾向を続けていくことが期待されますが、為替の円高基調、



代表取締役社長 新家康三

原材料価格の高止まりなど収益に関する不透明感は払拭されておらず、引き続き厳しい経営環境が続くと予想されます。

このような状況のもと、当社グループでは中期経営計画の二年目を迎え、『更なる世界への飛躍』をスローガンに、グローバル事業体制の構築、ものづくりの革新、人を活かす風土づくりをより一層、強力に推進していく所存であります。

特に、事業部横断での「生産革新活動“PIA21（ピア21）」を通じ、全社一丸となつてものづくりの革新を推進するとともに、新しい時代のニーズを捉えた新規商品の開発・投入を重点戦略として取り組んでまいります。また、拡大を続けるアジア二輪車市場における重要地域であるベトナム及びインドにて新たに販売拠点を設立し、営業・技術・納入の一貫サービスの提供を実現することにより、更なるグローバル事業体制の構築を推進してまいります。

株主のみなさまにおかれましては、より一層のご支援ご指導を賜りますようお願い申しあげます。

平成22年12月

Segment Information

セグメント別の状況

日本

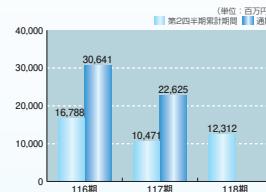
売上高構成比 64.6%



四輪メーカー向けについては、国内向け新機種ハイブリッドエンジン用チェーンの量産納入開始、またアジア向けの小型車用チェーンシステムの受注増加により、前年同期を大きく上回りました。二輪メーカー向けチェーン及びリム等については、一昨年からの在庫調整による減産の影響が一段落し、若干ながら前年同期を上回りました。二輪補修市場向けチェーン等については、円高による為替の影響を受けたものの、市場に回復の兆しが見え受注が増加し、前年同期を若干上回る結果となりました。産業機械用チェーンについては、建設機械向けや環境関連設備向けの

受注が好調であったものの、セメントや自動車関連設備向けが低調に推移したことから、前年同期並みとなりました。コンベヤ関連については、昨年に続き設備投資抑制の影響を受け前年同期を下回りました。

その結果、売上高は123億12百万円となりました。



アジア

売上高構成比 17.7%



四輪車用チェーンについては、中国を中心に受注は順調に推移しており、前年同期を上回りました。二輪車用チェーンについては、完成車メーカー向けはタイ・インドネシアを中心に好調に推移し前年同期を上回ったものの、補修市場向けの受注は、アセアン諸国を中心に厳しい状況で推移し前年同期を下回りました。コンベヤ関連については、中国において製鉄・セメント関連設備を中心に好調に推移し、前年同期を上回りました。

その結果、売上高は33億82百万円となりました。



北米

売上高構成比 4.9%



二輪メーカー向けリム及び二輪補修市場向けチェーンともに依然厳しい受注状況で推移し、また、産業機械用チェーンについても、設備投資の抑制等の影響を受け受注が低調に推移したことにより、前年同期を下回りました。

その結果、売上高は9億51百万円となりました。



南米

売上高構成比 9.4%



二輪車用チェーンについては、昨年5月に製造販売を開始したブラジル子会社(Daido Industria De Correntes Da Amazonia Ltda. : マナウス市)が本格稼働したことで、完成車メーカー向けが増加し、補修市場向けについても需要が旺盛であったブラジルを中心に受注が好調に推移しました。産業機械用チェーンについてもブラジルを中心に受注が順調に推移し、前年同期を上回りました。

その結果、売上高は18億3百万円となりました。



欧州

売上高構成比 3.1%



二輪車用チェーンについては、完成車メーカー向けはメーカーの生産が順調に回復してきており、前年同期を上回りました。二輪補修市場向けチェーン等についても、受注が順調に推移し前年同期を上回りました。

その結果、売上高は6億2百万円となりました。



当期より、セグメント区分を従来の事業の種類別から、当社及び連結子会社が所在する国または地域別に変更しております。

Financial Highlights

財務ハイライト（連結）

売上高



営業利益



経常利益



四半期(当期)純利益



純資産・総資産



1株当たり四半期(当期)純利益



主要財務データの推移 連結

科 目			第115期	第116期	第117期	第118期(第2四半期累計期間)				
			平成20年3月期	平成21年3月期	平成22年3月期	平成22年9月期				
売	上	高 (百万円)	48,467	45,278	33,687	19,052				
営	業	利 益 (百万円)	2,123	1,574	△ 682	665				
経	常	利 益 (百万円)	1,891	1,112	△ 780	573				
四	半	期 (当 期) 純 利 益 (百万円)	778	△ 192	△ 503	253				
純	資	産 (百万円)	20,224	16,504	17,798	17,063				
総	資	産 (百万円)	54,110	48,956	50,271	48,870				
1株	当	た	り	四	半	期 (当 期) 純 利 益 (円)	16.53	△ 4.09	△ 10.69	5.39

本報告書は決算短信の数値、文章を基に作成しております。決算の詳細ならびに今後公表される可能性がある訂正情報及び業績予想の修正情報につきましては、証券取引所の適時開示情報または当社ホームページの掲載資料にてご確認下さい。

Consolidated Financial Statements

連結財務諸表（要約）

■ 四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

科 目	前 期 平成22年3月31日現在	当第2四半期 平成22年9月30日現在
資 産 の 部		
流 動 資 産	20,891	21,344
現金及び預金	4,950	4,851
受取手形及び売掛金	8,614	8,899
たな卸資産	6,470	6,618
その他	855	974
固 定 資 産	29,380	27,526
有形固定資産	16,566	16,023
建物及び構築物	5,735	5,575
機械装置及び運搬具	5,823	5,283
土地	2,785	2,761
その他	2,222	2,403
無形固定資産	220	182
投資その他の資産	12,593	11,320
資 産 合 計	50,271	48,870

科 目	前 期 平成22年3月31日現在	当第2四半期 平成22年9月30日現在
負 債 の 部		
流 動 負 債	14,642	14,234
支払手形及び買掛金	4,478	4,820
短期借入金	7,313	6,673
賞与引当金	431	467
その他	2,419	2,274
固 定 負 債	17,830	17,572
社債	4,500	4,500
長期借入金	6,805	7,218
退職給付引当金	4,709	4,347
その他	1,814	1,506
負 債 合 計	32,472	31,086
純 資 産 の 部		
株 主 本 本	10,311	10,423
資本剰余金	2,726	2,726
利益剰余金	2,060	2,060
自己株式	5,542	5,654
評価・換算差額等	△ 17	△ 17
その他有価証券評価差額金	3,511	2,779
為替換算調整勘定	3,995	3,411
少数株主持分	△ 483	△ 631
少数株主	3,975	3,860
純 資 産 合 計	17,798	17,063
負 債 純 資 産 合 計	50,271	48,870

■ 四半期連結損益計算書

（単位：百万円）

科 目	前第2四半期累計期間 平成21年4月1日から 平成21年9月30日まで	当第2四半期累計期間 平成22年4月1日から 平成22年9月30日まで
売 上 高	15,662	19,052
売 上 原 価	13,851	15,686
売 上 総 利 益	1,811	3,365
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	2,659	2,699
営 業 利 益	△ 848	665
営 業 外 収 益	576	290
営 業 外 費 用	343	383
経 常 利 益	△ 616	573
特 別 利 益	9	1
特 別 損 失	15	30
税金等調整前四半期純利益	△ 623	544
法人税、住民税及び事業税	101	57
法人税等調整額	△ 188	109
少数株主利益	△ 170	123
四 半 期 純 利 益	△ 366	253

■ 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

科 目	前第2四半期累計期間 平成21年4月1日から 平成21年9月30日まで	当第2四半期累計期間 平成22年4月1日から 平成22年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	319	626
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 412	△ 496
財務活動によるキャッシュ・フロー	678	△ 586
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 299	123
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	285	△ 332
現金及び現金同等物の期首残高	3,203	4,623
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,489	4,290

Global Network

グローバルネットワーク



国内ネットワーク

- 株式会社D.I.D
〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町3-5-4 (MS-2ビル)
- 株式会社大同ゼネラルサービス
〒922-0842 石川県加賀市熊坂町ニ37-1
- 株式会社大同テクノ
〒922-0842 石川県加賀市熊坂町ニ37-1
- ダイド建設株式会社
〒922-0842 石川県加賀市熊坂町ニ32
- 新星工業株式会社
〒454-0921 名古屋市中川区中郷4-75
- 株式会社月星製作所
〒922-8611 石川県加賀市永井町71-1-1
- 株式会社和泉商行
〒550-0003 大阪市西区京町堀1-7-20

海外ネットワーク

- Daido Corporation of America
1031 Fred White Blvd, Portland, TN37148, U.S.A.
- DID Europe S.R.L.
Via Del Fonditore 16, 40138 Bologna, Italy

- D.I.D Asia Co., Ltd.
Siam Eastern Industrial Park 60/12 M.3 Mabyangporn, Pluakdaeng Rayong 21140, Thailand
- 大同鍵条(常熟)有限公司
中国江蘇省常熟市常熟東南經濟開發区珠涇路金湖工業坊3号
- P.T. Daido Indonesia Manufacturing
Kota Bukit Indah, Kawasan Industri Indotaisei, Sektor IA Blok P-2, Cikampek, Karawang, Jawa Barat, 41373, Indonesia
- Daido Industrial E Comercial Ltda.
Av. Independencia, 3.300
Cep 12.032.970-Taubate-SP-Brazil
- Daido Industria De Correntes Da Amazonia Ltda.
Avenida Solimes, n.400-Distrito Industrial-Manaus-AM-Brazil
- Daido Sittipol Co., Ltd.
Siam Eastern Industrial Park 60/12 M.3 Mabyangporn, Pluakdaeng Rayong 21140, Thailand

平成22年9月、以下の販売拠点を新たに設立しました。

- D.I.D Vietnam Co., Ltd.
2nd Floor, LASI Building, 345 Kim Ma St, Ngoc Khanh Ba Dinh Dist, Hanoi, Vietnam
- D.I.D India Trading Private Limited
No. 721/722, Galleria Tower, DLF City-IV Gurgaon, Haryana-1222002, India

Stock Information

株式の状況をご報告します。(平成22年9月30日現在)

株式の状況

発行可能株式総数：160,000,000株
 発行済株式総数：47,171,006株(自己株式44,264株を含む)
 株主数：4,828名

大株主(上位10名)

株主氏名及び名称	持株数	持株比率
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,305千株	4.89%
株式会社北國銀行	2,281	4.84
株式会社飯田	1,550	3.29
日本生命保険相互会社	1,377	2.92
加賀商工有限会社	1,308	2.78
大同生命保険株式会社	1,298	2.75
株式会社三菱東京UFJ銀行	1,291	2.74
株式会社みずほ銀行	1,291	2.74
新家萬里子	1,287	2.73
住友信託銀行株式会社	1,176	2.50

※持株比率は、自己株式を控除して計算しております。

株価(高値・安値)の推移



出来高の推移



Corporate Data

会社概要 (平成22年9月30日現在)

会社の概況

商号：大同工業株式会社
 設立年月日：昭和8年5月25日
 資本金：27億2,637万円
 従業員数：758名(個別) 2,133名(連結)

事業所

本社・本工場：〒922-8686 石川県加賀市熊坂町イ197番地
 福田工場：〒922-0002 石川県加賀市大聖寺下福田町ソ20
 動橋工場：〒922-0331 石川県加賀市動橋町中22-1
 東京支社：〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町3-5-4 (MS-2ビル)
 大阪営業所：〒542-0081 大阪市中央区南船場2-12-12 (新家ビル)
 名古屋営業所：〒450-0003 名古屋市中村区名駅南4-9-7
 浜松営業所：〒433-8121 浜松市中区萩丘1-19-11
 熊本営業所：〒869-1205 熊本県菊池市旭志川辺1074-1

会社役員状況

取締役及び監査役の状況 (平成22年9月30日現在)

会社における地位	氏名	担当及び重要な兼職の状況
取締役社長	新家康三	代表取締役 加賀商工会議所 会頭
専務取締役	本谷順一	
常務取締役	立田康行	事業支援本部長
常務取締役	中野金一郎	事業部管理兼AS事業部長 DAIDO SITTIPOL CO., LTD. 代表取締役会長
取締役	金野誠一	四輪事業部長
取締役	武田良一	事業支援本部長
取締役	平野信一	経営企画室部長 P.T. DAIDO INDONESIA MANUFACTURING 代表取締役社長
取締役	浅田順一	二輪事業部長
取締役	西谷伸一	産機事業部長 株式会社D.I.D代表取締役
常勤監査役	福田治	
監査役	笠松靖男	
監査役	棚橋健一	
監査役	東森正則	株式会社北國銀行 人事部長兼待遇

(注) 1. 監査役笠靖男氏、監査役棚橋健一氏及び監査役東森正則氏は、社外監査役であります。
 2. 当社は、監査役棚橋健一氏を東京証券取引所の定めに基づく独立役員として指定し、同取引所に届出ております。

株式のご案内

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日 その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日

【株式に関する住所変更等のお届出及びご照会について】

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出及びご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、下記の電話照会先にご連絡下さい。

株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関	大阪府中央区北浜四丁目5番33号 住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 事務取扱場所 (郵便物送付先)	大阪府中央区北浜四丁目5番33号 住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10 住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先) (インターネット) (ホームページURL)	☎ 0120-176-417 http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html
公告の方法	当社のホームページに掲載 http://www.did-daido.co.jp/jp/index.html

【特別口座について】

株券電子化前に、「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設しております。特別口座についてのご照会及び住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。

上場取引所 東京証券取引所市場第一部

お知らせ

【単元未満株式の買取制度のご案内】

当社では、単元未満株式をご所有の株主様が、ご売却を希望の場合に、当社に買い取りをご請求いただける単元未満株式の買取制度をご利用いただいております。

買取請求の際、当社にかかる手数料は無料となっておりますので、制度のご利用をご検討下さいますようお願い申し上げます。

お手続きの詳細及びご不明な点につきましては、株主様が口座を開設している証券会社(特別口座が開設されている株主様は、左記電話照会先)までお問い合わせ下さい。

ホームページのご案内

<http://www.did-daido.co.jp/>



投資家のみなさまに財務情報や最新トピックスをご提供しております。